



2015 年 8 月 20 日

シンクタンク アジア GAP 総合研究所 主催

＜特別賞（2015 年 GAP 普及大賞）＞

福島県の観光農園 まるせい果樹園が受賞！

GAP を活用した東日本大震災に伴う風評被害への対策が評価されました。

アジア GAP 総合研究所（理事長：（農）和郷園 木内博一）は、GAP 普及大賞選考委員会を開催し、まるせい果樹園の取り組みを含む 3 つの GAP 普及の優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

■特別賞 受賞事例：

GAP を活用した東日本大震災に伴う風評被害への対策

＜受賞者＞まるせい果樹園（福島県）

福島県の観光農園である「まるせい果樹園」は、東日本大震災に伴う風評被害への対策のため、第 3 者認証制度がある GAP に取り組み、消費者からの信頼回復を実現した事例として高く評価されました。

まるせい果樹園は福島県内最大級の観光農園であり、さくらんぼ・桃・柿・リンゴ等を 7.5ha 栽培しています。東日本大震災に伴う風評被害への対策のため、第 3 者認証制度がある GAP に取り組み、2013 年 6 月に放射能試験が義務付けられた JGAP 認証を取得し、消費者からの信頼回復を図りました。同じ福島県内の産地に風評被害が残る中、まるせい果樹園は JGAP 認証をバネにこれまで取引が無かった大手量販店や中元用通販にも積極的に営業を行い、また観光農園として消費者にも JGAP 認証を熱心に伝え信頼を獲得し、激減した売上を震災前の水準にまで回復させ、復興への歩みを進めています。

まるせい果樹園の取り組みは福島県内外からも注目が高く、視察なども多く受け入れています。報道関係者からの取材や講演でも GAP について語り広く普及し、消費者から業界関係者まで GAP の認知を高める活動を熱心に続けています。

## NEWS RELEASE

GAP 普及大賞は、今年一年間で最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。  
2015 年 GAP 普及大賞の選考委員は次の通り。

荘林幹太郎（学習院女子大学 国際文化交流学部 教授）

岩元明久（日本農業普及学会 副会長）

迫田登稔（国立研究開発法人 農研機構 中央農研 上席研究員）

堀江隆（公益財団法人 日本適合性認定協会 参事補）

特別賞を受賞したまるせい果樹園の取り組みに加え、下記の 2 事例が同時に GAP 普及を受賞しています。いずれも甲乙付け難い GAP 普及の優良事例です。

### －GAP 普及大賞－

#### ■食品メーカーによる農業の持続性を高める GAP の取り組み

<受賞者> 日本コカ・コーラ株式会社

### －GAP 普及大賞－

#### ■韓国における国際的な視点からの GAP 普及の取り組み

<受賞者> 営農組合法人ノルメインサム 朴範鎮（パクボムジン）（韓国）

以上、3 受賞事例につきまして、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場ください。

#### ■シンポジウム「GAP Japan 2015」

日時：2015 年 9 月 10 日（木） 13 時から 17 時

場所：東京大学 武田ホール（東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部武田先端知ビル 5 階）

関連ホームページ：[http://jgap.jp/LB\\_06/GAP\\_Japan2015.html](http://jgap.jp/LB_06/GAP_Japan2015.html)

#### ■アジア GAP 総合研究所について <http://asiagap.jp/>

日本唯一の GAP のシンクタンクとして、東アジアの GAP 指導と農産物のブランド化を支援しています。JGAP / GLOBALGAP / TaiwanGAP 等の農業現場の指導、およびバイヤー企業が定める独自の調達基準の【導入・指導 / 二者監査】もサポートしています。

問合せ先：佐久間（さくま） TEL 029-893-4424 FAX 029-893-4425 E-mail: [info@asiagap.jp](mailto:info@asiagap.jp)

（取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。）

御社名 \_\_\_\_\_ 部署名 \_\_\_\_\_ 御名前 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_